

做執行ヲ解除シテ從前通り職工管理ノ下ニ營業セシメシレ  
度シト要求セルニ至レニ對シ井上ハ執行ノ不審ニ非ナルコ  
トヲ力説シ此際職工ノ工場管理ヲ解除シテ工場自負ニ於テ  
工場ヲ經營シテシト速ニ妥協成ラヌシテ別レタリ

(2) 五月七日午後五時三十分爭議團代表鶴澤忠行外五名工場主  
定ヲ訪向工場主ト會見シ右代表ヨリ吾々ハ爭議發生以來直  
接工場主ニ會見シ申シタルニ其都度代理人ヲ以テ會見セ  
シメタルハ不都合ナリト詰向シタルニ野村ハ直接會見セサ  
ル理由ハ意見ノ衝突ヲ招来シ内情ヲ欠ク虞アルカ為メナリ  
ト釈明シタル後共資共從來ノ態度ヲ批判シ而シテ爭議團側  
ヨリ至急本向題ヲ解決サレタシト速ニハタルニ工場主ハ自分  
ハ工場ヲ經營スル資力ナキヲ以テ家賃機械代等ヲ完全ニ支  
拂ニ得ル者ナシハ何人ニテモ貸與シ經營セシムル決心ナリ  
ト答ヘ不得要領ヲ悟別レタリ

(3) 五月十日午前十時ヨリ矢張り工場主定ニ於テ共資會見交渉  
セルニ双方腹ヲ擗リ合ヒテ過キス結局工場主側ヨリ左記ニ  
案提示シ爭議團ハ一應協議ノ上腹案ヲ提出スルコトニシテ  
引揚ケタリ  
工場管理ノ契約破棄ヲ從業員側ニ於テ承認セリトシテ要求  
本契約破棄ノ上更ニ再契約セムトスル場合ノ腹案

二 経過

(1) 事業主側

工場主ハ能止從業員トノ工場管理契約ヲ破棄シテ自己又ハ  
他ノ相當資産有ル者ニ貸與シテ經營セムトスル意圖アリテ  
態度極メテ強硬ナリ  
(2) 勞働者側  
争議團ハ依然東京出版勞働組合本部員等ノ指導ヲ示旨結  
束ニ固メ別添ノ如キ印刷物等ヲ配布撤布宣傳ニ努ムル